



# みなみの風

坂下南小学校  
学校だより  
NO. 58  
R6. 10. 25  
(文責:校長 菅家 篤)

**ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴょう・なかとじぶん～**

先週行われた就学時検診の際、次年度入学予定の保護者の皆様にお伝えしたお話を紹介します。

## 上野動物園と旭山動物園の話

上野動物園には10数年前、約450種、2800ほどの動物がいました。これをおよそ50人の飼育係が飼育していました。とても仕事量が多いのです。そこで、餌を沢山食べるゴリラに、栄養を考えたペレットなるものを作って、与えることにしたそうです。人間で言えば、ブロックタイプや、ゼリータイプのバランス栄養食品のようなものです。

本来の餌をやめ、ペレットを与え始めてしばらく経った頃、ゴリラが自分の指を噛み切り始めました。そして、自分の体の毛をむしり取り始め、あつという間に毛を取ってしまったのです。

驚いた飼育係は、獣医と共に原因調べを始めました。その結果、ストレスということが分かりました。ストレスの主な原因は、餌として与えていたペレットにあるらしいことも分かってきました。

それで、あわてて元来の餌にもどしたのです。すると、指の噛み切りをやめ、毛をむしり取ることもやめたそうです。このことから、野生の動物は、餌を食べることに大変な努力をしている、そうしなければ生きていけない、つまり、餌を入手するには、手間ひまをかけ、努力しなければならないことに気付いたのです。ペレットを与えたのでは何の努力も手間もいりません。ただ食べるだけです。狩りもできず、時間をもて余すこととなります。これではストレスが貯まるはずで、動物園では、動物のストレス解消のための知恵を絞っています。旭川市立旭山動物園ではこの取組が進んでいます。

ホッキョクグマには、りんごや魚を氷で固めて与えています。1個作るのに1週間かかります。氷をかじらなければ、餌を食べられない。それで、時間もかかるし、手間もかかります。

猿には、サイコロ型の箱の中に餌を入れ、1の目が下にいけば餌が出るようにしています。知恵と手間ひまが必要なのです。

キリンには、首を伸ばせるだけ伸ばさないと餌を食べられない高い所にかごを吊り下げています。自然の状態に近いですね。

オランウータンは、高さ17メートルもの木の枝を登り、さらに20mもあるロープを伝って隣の柱までいかないと餌を食べられないようにしています。これで、異常行動が減ったそうです。



### 子どもに骨折らせること、それも「愛情」

二つの動物園の話から考えさせられるのは、子どもたちも動物と同じではないかということです。何の苦労も努力もしないでも、教え、分からせ、理解させてくれる。食べ物もスーパーやコンビニ、総菜屋などからできあいを買ってきて食べることができる。食べ物も、勉強も、手間暇がかからない状態では、子どもにストレスが溜まるのではないか、という心配があります。

子どもにもう少し骨折らせなくてはなりません。これも一つの「愛情」ではないでしょうか。子どもに対する愛情があるならば、もっと子どもを鍛えることが必要ではないかと思えます。

..... き り と り .....

**「学習発表会」のご感想をお寄せください♪ 明日は皆様のご来場を心よりお待ちしております。**

お名前（ ） ※ 学校だよりで紹介させていただきます。


学校だよりへのお名前掲載の可否についていずれかに○を付けてください。( 可 ・ 否 )